

令和4年度 第5回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会
会議録

- 1 日 時 令和5年2月7日(火) 午前10時30分から午前11時15分まで
- 2 場 所 レイアップビル御幸町 6D会議室
- 3 出席者 (委員) 木宮会長、池田副会長、石川委員、内海委員、
風岡委員、菅委員、佐潟委員、佐藤委員、高田委員、竹
上委員、牧田委員、山室委員
(欠席: 桂田委員、黒瀬委員)

(オブザーバー)

静岡県 経営管理部池ヶ谷理事
建設政策課北堀課長、港湾企画課北川課長

(事務局) 松浦企画局長、山田企画局次長

鈴木企画課長、久野井課長補佐、乗松副主幹、渡邊主査
スポーツ振興課 田村係長、鈴木主任主事
スポーツ交流課 栗田副主幹

- 4 傍聴者 2人
- 5 議 題 (1)パブリックコメント実施報告
(2)最有力候補地の検討について

6 会議内容

(1) 開 会

【事務局(鈴木課長)】

- ・開会
- ・桂田委員、黒瀬委員は所用により欠席している。今回はオブザーバーとして静岡県から経営管理部池ヶ谷理事、建設政策課北堀課長、港湾企画課北川課長が参加している。

(2) 第4回の振り返り

【事務局(久野井補佐)】

- ・第4回検討委員会(書面会議)の意見と対応について説明
(資料1、参考資料1、2、3)

(3) 報 告

- ① パブリックコメントの報告について

(4) 議 事

- ② 最有力候補地の選定について

【木宮会長】

- ・(3) 報告と(4) 議事は関連するため、事務局から一括で説明いただきたい。

【事務局 (久野井補佐)】

- ・パブリックコメントの報告について説明 (資料2)
- ・最有力候補地の選定について説明 (資料3)

【木宮会長】

- ・市内外から916名と多くの意見をいただき、関心の高さをうかがえる。
- ・まず、パブリックコメントの説明について質問はあるか。

【委 員】

- ・(質問なし)

【木宮会長】

- ・では、次に最有力候補地の選定について意見をいただきたい。

【池田委員】

- ・最有力候補地の選定について異議はない。
- ・来年度以降の懸念事項として、大型の建築物の建設にあたっては、軟弱地盤や土壌汚染対策の費用が当初想定よりも大きく増え、それに伴い工期が延長されるリスクもあるため、来年度の調査は技術力のあるコンサルタントなどに調査いただいた方がいい。
- ・また、安全対策については、どの程度の対策を実施するのか目標とするレベルをまず明示する必要がある。その上で数万人という観客が、スタジアムにいる時だけでなく、駅からスタジアムに向かう経路や周辺施設にいる時に地震や津波が来た場合でも、その安全をどのように守るのか、ある程度の具体策を示した上でそのコストを検討する必要がある。そして、防災拠点化するとすると、さらに高い安全性を持たせる必要がある。どのレベルで安全性を確保するのかという議論が必要である。

【事務局 (久野井補佐)】

- ・池田委員から頂いた意見を慎重に検討していく必要があると認識している。

【菅委員】

- ・スタジアムやアリーナは積極的な減災拠点として警察や自衛隊車両の基地にするなどが考えられる。社会的な意義も加味して、必要なコストを考えると良い。

【木宮会長】

- ・静岡市ではスタジアムだけではなくアリーナについても議論されている。具体化していく中で市全体の防災計画とも関連するという視点も必要になる。

【竹上委員】

- ・最有力候補地の選定については異論ない。
- ・日産スタジアムは地下が調整池になっているが、20年前に500億円で建設している。今は建設費が高騰していたため、清水駅東口での概算費用を算出したところ、対応できるレベルでは無いとなってしまうと、議論が前に進まなくなる。議論が巻き戻ることのないように検討する必要がある。

【木宮会長】

- ・議論がゼロに戻ることがないように、IAIスタジアムの改修についても検証していく必要があると整理した。
- ・当初は有力候補地を1か所に定めることで検討をスタートしたが、JR清水駅東口については交通アクセスやまちづくりにおいて優れているものの、多くの課題があるため、その対策や費用を検証していく。
- ・JR清水駅東口以外に候補地は無いため、対策が難しい場合はIAIスタジアムの改修となるが、改修にあたっては課題はあるため、その検証も同時並行で進める。ということで本年度の結論とする。
- ・オブザーバーの静岡県さんからもご意見をお願いします。

【静岡県（池ヶ谷理事）】

- ・来年度以降にコストの検証もしていくとのことだが、以前に実施した市民アンケートでは日常利用を期待する意見も多かったため、コストの検証とともに、賑わいづくりの面でも検討して欲しい。県としても駿河湾フェリーを活用した集客など協力できることはあると考える。

【静岡県（北川港湾企画課長）】

- ・清水港はコンパクトな土地に様々な機能を集約した港であるため、港湾の限りある土地を有効活用していただきたい。また、物流の大動脈である臨港道路への影響もあるため、交通アクセスについては配慮いただきたい。今後、施設整備を検討するにあたっては関係者の皆様と協議しながら進めていただきたい。

【木宮会長】

- ・様々な検討事項があるので、これからも相談しながら進めていきたい。

(5) その他

【事務局（久野井補佐）】

- ・議論いただいた候補地について、さらに検討を進めていきたいと考えている。
委員の皆様には来年度も引き続きよろしくお願ひしたい。

(6) 閉 会

【事務局（鈴木課長）】

- ・閉会

以上

(署名) 会長 木宮敬信